

☆読売プルデンシャル福祉大賞受賞の様
☆能登半島地震を体験して
☆最近の賛同者情報

◇◆
☆読売プルデンシャル福祉大賞受賞の様

みなさん、こんにちは。まめ兄こと代表の清水です。
いつもハート・プラス活動への応援、ありがとうございます。
さて、今回はかなり遅くなってしまいましたが、1月に行われた
「読売プルデンシャル福祉文化賞大賞」受賞の様をお伝えしたいと思います。
当日の裏話や、ハラハラドキドキ？ ささやかなサプライズも！？
題して「まめ兄の受賞&フォーラム日記」をどうぞ。

2007年、1月29日、曇天の空模様にも関わらず、妙に高揚した、それでいて緊張気味の面持ちで、
私たちは、国立オリンピック記念青少年総合センターの会場にいました。

「読売プルデンシャル福祉文化賞」
大賞を受賞した、との一報が入ったのが昨年11月初旬、最初はほとんどダメもとで応募していた
ので受賞の連絡には本当にビックリで、同時に自分たちの活動が認められた、と言う嬉しさも。

受賞に臨んだハート・プラスのメンバーは、代表の村主正枝さん。事務局の加藤陽子さん。
写真撮影担当にスタッフのヨシノさん、そしてワタクシ、清水の4人。
事前の打ち合わせにて、フォーラムでのパネリスト担当となっている村主さんは、用意した原稿を読み
直し、念入りに練り直し……。しかしここで問題が発生。

映像が使えない！？
村主さんからの会の紹介とともにこれまでの取材をまとめた映像を流す予定だったのですが……。
DVDが、パソコンで再生出来ない、と言うトラブルが起きてしまったのです。

どうしよう！ 新しい再生ソフトを？ 最悪、村主さんのしゃべりだけで行く！？
直前のトラブルに一同は、喧々諤々……。結局、予備で用意していたビデオテープとDVDを会場の
映像設備を使って流す事に。一抹の不安を抱えながら迎えた受賞式。
会のWeb担当として、窓口業務に貢献して下さっている加藤さんが、トロフィーと目録を授与。
そして、プログラムはフォーラムへと。

他の受賞者の方々は、プロが製作した映像やパワーポイントを使っての流れるような活動の紹介。
すばらしい……！

なんの、ハート・プラスも負けてはいません。ウチは「手作りの良さ」が売りです。(笑)
ヨシノさんが写真撮影のため、私が映像担当に。実は、演台に上がると気持ちまで上がってしまう性格
なのですが、今回は、裏方でもやっぱりアガリ性？(苦笑)

しかし、みなさん、お待たせしました。ここで、ささやかなサプライズです。
活動紹介の中で、優先座席や障害者用駐車スペースについての部分があったのですが、ちょうどその時に
流れた映像も、駐車スペースが映っている場面！

まるで、映像にナレーションが入ったかのようなその一瞬に、思わずガッツポーズが出てしまいました。

フォーラムでのディスカッションでは、移り変わる国内外の社会情勢に障害者として、どう生きていけば
良いのか？ 医療・教育・就労をはじめとした、本当に生活の身近な部分から社会全体の大きな視野での
問題まで話は尽きない、2時間でした。

フォーラムの後、夕食をかねた懇親会の場で、ひとり改めて大賞トロフィーを手にとって眺めていた私……。約20センチメートルの高さのガラス製のトロフィーですが、これは、これまで自分たちが歩んできた道のりと、ハート・プラスを信じて支えて下さったすべての方々の思いの結晶なんだ……。そんな思いが改めてしみじみと込み上げてきました。

こうして、ハプニングやサプライズも含んでの授賞式&フォーラムは、無事に幕を降ろしたワケですが、今回は月曜日が日程だった事もあり、残念ながら会場に来ていた方々は、まばらな状態……。約30名のほとんどが受賞者が関係者の身内だけの行事だったように思います。障害を持つ当事者である私たちの活動の発表やフォーラムでの活発な意見交換、せっかくこんなに良い機会なのに、休日での日程にして、もっとたくさんの方々に参加して欲しいというのが実感でした。「Oh. モッタイナイ」

最後に今回の受賞に際して、活動を支えて下さったすべての方々に改めまして御礼を申し上げます。この受賞を糧にハート・プラスは、更なる躍進を目指し活動を続けて行きたいと思っています。今後とも宜しく願い申し上げます。以上で、「まめ兄の受賞&フォーラム日記」を終わります。

◇◆—————◆◇
☆能登半島地震を体験して

今回、北陸の事務局担当の片山さんに地震当時のことを率直に質問しました。これが皆さんの災害時になんらかの役に立つことを願って。
聞き手、白井

Q1 まず、揺れたときに一番感じたことはなんですか？

A 凄い縦揺れと横揺れだったので能登沖地震で家が倒壊するか心配でした。でも地震が収まるまで身動きも出来ませんでした。避難用に部屋のドアを開けるのが精一杯でした。

Q2 震源地や最大震度を、どの時点でどんな手段で知りましたか。

A 停電で約一時間近く震源地や地震の規模は分かりませんでした。復帰後テレビで能登沖地震と震度6.9と初めて知りました。小さな電池式のラジオが必要と思いました。被害が最小だったので電気が復帰後震度6強の地震だとテレビで知りましたが水道の断水は動転していて気が付きませんでした。被災地（輪島市門前町）では電気、水道の復帰には一週間かかり内部障害の人達は避難所でどうしていたのか情報はありませんでした。

Q3 知人との連絡は出来ましたか？それはどんな手段でしたか

A 携帯メールで安否を問い合わせがありほとんどメールで返事を書いていました。知人、親戚、友人との連絡は3日間連絡が取れませんでした。NTTが繋がらないときIP電話は全部で無いにしろ繋がりました。

Q4 自分以外で家族に避難が難しい人はいましたか？

A 認知症の義母が一階に居ましたが地震が収まるまで見に行くことが出来ませんでした。

Q5 精神的な不安が一番強かったり、ストレスになったのは何でしたか？そして、それにより体調を崩しましたか？

A その後余震が昼夜数百回続いたので不安がストレスになり病気の悪化が心配でした。一週間は潰瘍性大腸炎の調子が悪くなりトイレの回数が増えました。

Q 6 内部障害者の情報ですが、前回の新潟県中越地震の時は被害も多く腎臓疾患者は透析設備が整っている病院をラジオ放送しましたが、今回はどうしていたか、知っている範囲でお願いします。

A 内部障害者の情報は透析患者は加賀地方の金沢大学附属病院、医科大学、県立中央病院に搬送されました。孤立した町から避難所まで漁船を使い避難所から搬送されました。

Q 7 これは用意したほうがいいというものを教えてください。

A 水、薬、インスタント食品、携帯ラジオ、お金、携帯ライト、下着を避難袋に入れていた方がいいと思います。

いざとゆうときはパニックになってしまうので身近な壁に下げて居た方が安心だと感じました。

Q 8 自分に関する疾患で行政や付近の住民からなんらかのサポートはありましたか？

A 内部障害者に対する行政からのサポートはありませんでした。

被害地では町会長が地図に一人暮らしや病気を持っている人の家に色分けして避難させたと報じられていました。

Q 9 震源地付近の医療はどうでしたか？

A 地震直後金沢の日赤の医療スタッフ金沢大学、県立中央病院の医療スタッフが輪島市の被害地の避難所に入り救難活動が迅速に行われました。

現在には富山大学の医療スタッフも参加して診療しています。

七尾市や輪島市、穴水町の公立病院や個人病院も主体ととなって診療しています。

Q 10 今回の地震の被害が少なかった事はその地域性にあるとも言われますが地元の風土などを詳しく教えてください。

A 被害が少なかったのは地震の起きた時間が9：42分と比較的家から仕事や畑仕事で家に不在だったのと火災が起きなかった事だと思います。

罹災者も近所の倒壊家屋の家で救助にあたったことも人的被害者が少なかった原因だと思います。

輪島市や他の被災地は山間部が多いので町民の結束力が強いことも人的被害が少なかったと考えています。

Q 11 最後に今回のことで感じたことをお願いします。

A 石川県、輪島市の対応が迅速だった。

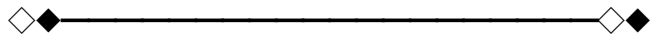
陸上自衛隊の支援も当日に現地入りして活動を開始し被災者の支援を行った。被害の大きかった輪島市、珠洲市、七尾市、能都町、穴水町、志賀町の被災者は自分の家も被災しているのに酷い被害のあった家に救援活動を自主的に始めたので被害も少なかったと思っています。

能登地方にこんなことわざがあります。

『能登は優しや土までも』隣近所の付き合いは家族の様に付き合っている昔の日本の慣習が残って居たからこそ人的被害が少なくすんだと感じています。

避難所では各家から野菜や米を持参して被災者に食事のボランティアもありました。現在も続いています。道路の陥没、橋のひび割れの補修も重機を加賀地方から国道を使って運び復旧が迅速に現在進んでいます。現在も金沢にボランティアの方々が全国から集まりバス10台で現地に入って活動しています。

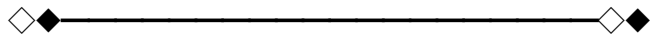
「頑張ろう能登」と言うスローガンのもとで今能登や加賀地方、全国では被害者の支援が応援が続いています。心から全国の皆様にお礼申し上げます。本当にありがとう御座いました。



☆最近の賛同者情報

平成18年11月20日以降の賛同者62人
新規賛同者の疾患内訳

心臓	20名
腎臓	12名
肺	1名
免疫	3名
消化器	8名
難病	12名
その他	6名



【配信元】 内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える
ハート・プラスの会

【連絡先】 事務局 heartplusmark@yahoo.co.jp

現在 賛同者数名	735名
(内運営メンバー	14名)
